

【マレーシア】

9-10月の市場動向トピックス

- 2021年9月の訪日マレーシア人数は、対2019年同月比99.3%減の200人であった。
- 2021年10月の訪日マレーシア人数は、対2019年同月比99.6%減の200人であった。
- COVID-19の拡大により、日本政府による上陸拒否、14日間の隔離・PCR検査受検等、査証の効力停止等の対象となっている。2021年8月14日以降、水際対策上特に懸念すべき変異株に対する指定国・地域として、当分の間、検疫所が確保する宿泊施設での待機、入国後3日目の再検査等、検疫強化の対象となっている。マレーシア政府から出された活動制限令により日本への出国禁止が継続されていたが、10月11日以降、ワクチン接種完了者の渡航が許可された。自国民の日本からの入国については、マレーシアへの出発3日前のスクリーン検査と入国時のPCR検査、10日間の隔離及び隔離施設退出2日前のPCR検査受検が義務付けられている。ワクチン接種完了者は、条件を満たせば7日間の隔離及び指定施設に代えて自宅隔離が可能になっている。

9-10月の主なプロモーション活動

- 東北地方のプロモーションとして、旅行会社・メディアを対象とし、東北地方への商品企画・作成能力の強化および最新情報の提供を目的に、オンラインセミナーを全6回で開催している。10月14日実施の第1回は、ライブ中継により秋田県の“いま”をお届けし、食・自然・コロナ感染対策などの情報のほか、マレーシア出身の在日インフルエンサーCheesieより、秋田の好きな所をご自身の体験に基づき紹介。151名が参加し、温泉、武家屋敷、アクティビティ、日本の歴史や文化、自然景観など、触れ合いながら楽しめる秋田の魅力を再認識できたと好評であった。

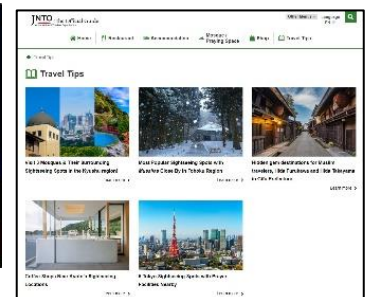


アーカイブ動画：<https://www.youtube.com/playlist?list=PLnAkeZRK0FJFSLiVl83s-1zAzLu1tsARI>

- ポストコロナを見据えて、「Japan My Next...」をテーマに、日本の多様な魅力や知られざる側面を切り口としたPR映像を制作した。マレー系、中華系それぞれの民族が求めるニーズにあわせた内容として、旅行博やSNSを通じて今後幅広く配信するとともに、ウェビナーなど各種プロモーション事業での展開を通じて、訪日旅行のイメージ浸透、地方分散促進、将来の訪日意欲の促進を図っていく。その他、JNTOが運営するムスリム旅行者向けウェブサイト(<https://muslimguide.jnto.go.jp/eng/>)には地域の魅力を紹介したコンテンツを掲載し、情報発信の強化を行った。



PR映像



ムスリムサイト

動画リスト：<https://www.youtube.com/playlist?list=PLnAkeZRK0FJEbIdseviejjz2CXE1BuvEf>